

平成 27 年度高エネルギー加速器研究機構技術研究会参加報告

星野 英夫 機械・金属技術分野

1. はじめに

平成 27 年度高エネルギー加速器研究機構技術研究会（平成 28 年 3 月 17 日（木）、18 日（金））に参加したので報告する。

2. 研修内容

本技術研究会は第 1 分科会（機械工作）、第 2 分科会（実験装置）、第 3 分科会（計測制御）、第 4 分科会（真空、低温）、第 5 分科会（情報処理）の分科会があり、38 機関 208 名の参加があった。星野は主に第 1 分科会に参加した。第 1 分科会の口頭発表は 8 件、ポスター発表は 4 件だった。全体的印象としては、技術研究会の主旨のひとつである日頃の創意工夫、失敗談が多く、発表にあり原点に立ち返っていると感じた。ガラス工作室復活にかける発表、治具や現場でなければ出来なかった創意工夫の発表などや他機関からの受け入れ研修を行っている発表、学内の共通言語は英語である発表は印象に残った。

星野は 1977 年から 4 年間、高エネルギー物理学研究所（当時の呼称）に在職していた。久しぶりに古巣である工作棟（現機械工学センター）を訪ねた。

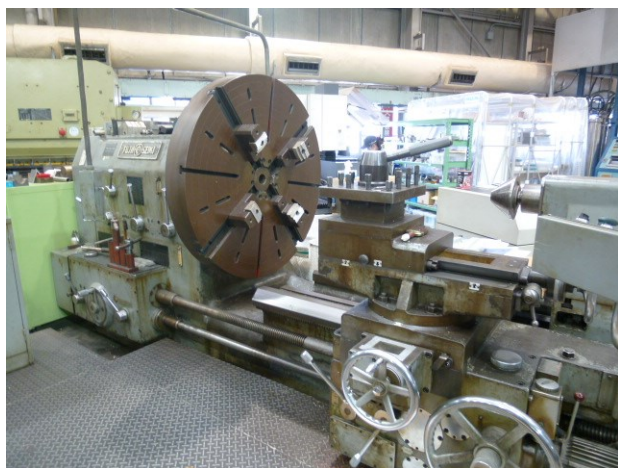


図 1 約 40 年間現役の正面旋盤

5 軸制御立形マシニングセンタなどの最新の工作機械は勿論の事、約 40 年間現役の工作機械を含め、約 100 台が管理され活躍している。



図 2 創意工夫された中繰りバイト



図 3 今も残る高エネルギー物理学研究所銘板

3. 研修成果

技術研究会は、1976 年 2 月分子科学研究所で第 1 回が開催され、1987 年 10 月に高エネルギー物理学研究所でも開催され、星野も参加している。失敗や創意工夫した発表が多く、共有できたことは今でも自身の強い土台となっている。

ぜひ、技術研究会を通じ、同じ職種の人とネットワークを作り、情報共有に努めて欲しい。